

第6回「次世代の太陽光発電システム」シンポジウムのお知らせ

－ エネルギー産業クラスターの形成を見据えた産学連携：新潟 －

地球温暖化防止やCO₂排出削減は全世界の共通言語となりつつあり、再生可能エネルギーに対する期待は日増しに高まっています。太陽光発電システムは、飛躍的な増加によって全世界での年間生産量が3GWを越え、代替エネルギー源としての地位を着実に築いています。ここ数年、シリコンの原料不足の影響もあって特に薄膜太陽電池に注目が集まっており、薄膜シリコン系やCIGS系太陽電池の量産計画が国内外のメーカーから発表され生産が始まっています。太陽光発電の普及を加速し、代替エネルギー源としての地位を確保するためには、高効率・高生産性・長寿命の3つの技術開発が必要不可欠です。そのためには、材料物性から、デバイス物理、プロセス技術、装置開発、パッケージング技術、性能評価に至るまで産学官連携での幅広い研究開発が求められます。一方、太陽電池の生産や導入普及を円滑に進めるためには地域との連携を忘れることはできません。

今回、第6回シンポジウムを日本海側で唯一の政令指定都市である新潟市で開催する運びとなりました。新潟といえば、大河ドラマの『天・地・人』に加えて美味しいお米やお酒がよく知られていますが、各種のエネルギー産出県としての一面も持っています。特に天然ガスは国内最大の産出量を誇り、石油も僅かながら明治時代から継続して産出しており、特色ある工作機械や金属加工分野など地域産業発展の歴史もエネルギーに深く関わっています。時代は今まさに新しいエネルギーを求めており、新潟県はクリーンエネルギー産業基盤育成事業にも積極的に取り組んでいるところです。これらのことから、本委員会では「**エネルギー産業クラスターの形成を見据えた産学連携**」をサブテーマとして、第6回シンポジウム(新潟)を企画させていただきました。主催、共催団体の会員はもとより会員以外の方も自由に投稿、参加できますので、お誘い合わせの上、ご参加下さいませようお願い申し上げます。なお、本シンポジウム開催に合わせ、(財)にいがた産業創造機構(NICO)主催の「新潟県太陽光等エネルギー関連産業展」が併設展示される予定となっております。

主催 日本学術振興会 産学協力研究委員会 第175委員会 (<http://solid.pe.titech.ac.jp/~gakushin>)

協賛 応用物理学会 応用電子物性分科会

応用物理学会 結晶工学分科会

会期 平成21年7月2日(木)、3日(金)、の2日間

場所 朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンター

〒950-0078 新潟市中央区万代島6番1号

TEL: 025-246-8400 <http://www.tokimesse.com/>

シンポジウム参加費 7,000円(主催委員会委員)、12,000円(一般)、2,000円(学生)
懇親会費3,000円

シンポジウムの内容

- (1) 結晶Si系、薄膜Si系、化合物薄膜系、超高効率、色素増感・有機薄膜系、第3世代等の各種太陽電池
- (2) 太陽電池の製造技術・モジュール技術、評価技術、リサイクル技術、測定法など
- (3) 太陽光発電システム(系統連系技術、フィールド試験、大規模発電、宇宙応用)など
- (4) エネルギー政策、導入普及、地域連携
- (5) 基礎講座

招待講演の他にも、広く一般講演(ポスターセッションを含む)を募集しております。

講演申込手続き

講演希望者は、A4用紙1枚に、発表題目、発表者名、連絡先住所、電話番号、FAX番号、電子メールアドレス、講演概要(200字程度)を記入し、シンポジウム事務局まで電子メールまたはFAXにてご連絡ください。

講演申込締切は、平成21年5月1日(金)です。

ダイジェスト原稿の提出

提出された論文概要をもとにプログラムを作成し、申込者にお知らせ致します。講演者には、当日配布用のダイジェスト原稿(A4、4ページ以内)の作成をお願いいたします。

ダイジェスト原稿の締切は、平成21年6月2日(火)です。

参加登録

シンポジウムに参加を希望される方は、氏名、所属、住所、電話番号、FAX番号、電子メールアドレス、懇親会参加

の有無を明記の上、シンポジウム事務局までメールにてお申込ください。
また、参加費は、平成21年6月18日(木)までにお振込みください。

実行委員会

委員長： 山田 明 (東京工業大学)
副委員長： 片桐裕則 (長岡工業高等専門学校)
会場委員： 片桐裕則 (長岡工業高等専門学校)、坪井 望 (新潟大学)、田中久仁彦 (長岡技術科学大学)、飯田英世 (ナミックス)、松本栄一 (トッキ)、伊藤貴司 (岐阜大)
現地実行委員： 片桐裕則、山崎 誠、大石耕一郎、荒木秀明、竹内麻希子 (長岡工業高等専門学校)
プログラム委員： 宇佐美德隆 (東北大学)、大東威司 (資源総合システム)、
片桐裕則 (長岡工業高等専門学校)、櫛屋勝巳 (昭和シェル石油)、
小長井誠 (東京工業大学)、近藤道雄 (AIST)、田中 誠 (三洋電機)、仁木 栄 (AIST)、
野々村修一 (岐阜大学)、早瀬修二 (九州工業大学)、増田 淳 (AIST)、
山口真史 (豊田工業大学)、山田 明 (東京工業大学)、山本憲治 (カネカ)

事務局

〒152-8552 東京都目黒区大岡山2-12-1 S9-10
東京工業大学 電子物理工学専攻
山田 明
電話:03-5734-2698, FAX:03-5734-2897, E-mail: yamada@pe.titech.ac.jp

参加費振込先

みずほ銀行 大岡山支店 普通預金
店番号 145、口座番号 2084534

にほんがくじゆつしんこうかいだい175いいんかいだいひょうこながいまこと
日本学術振興会第175委員会代表小長井誠

会場案内

朱鷺メッセ:新潟コンベンションセンターまでのアクセスは、
<http://www.tokimesse.com/access/map/>を御覧下さい。
JR 新潟駅 徒歩20分、バス15分(「朱鷺メッセ」バス停下車)

日本学術振興会 産学協力研究委員会 第175委員会 運営委員会

委員長： 小長井誠 (東工大)
副委員長： 山口真史 (豊田工大)
近藤道雄 (産総研)
運営幹事： 大下祥雄 (豊田工大)
庶務幹事： 山田 明 (東工大)
運営委員： 荒川裕則 (東京理科大)、大東威司 (資源総合システム)、櫛屋勝巳 (昭和シェル石油)、
佐賀達男 (シャープ)、瀬川浩司 (東大)、田中 誠 (三洋電機)、野々村修一 (岐阜大)、
仁木栄(産総研)、早瀬修二 (九工大)、藤岡弘文 (三菱電機)、冬木 隆 (奈良先端大)、
増田淳 (産総研)、山内康弘 (三菱重工業)、山本憲治 (カネカ)、吉川 暹 (京都大学)、
和田隆博 (龍谷大)

ホテル案内

会場周辺にはホテルがあります。インターネットあるいは旅行業者を通じて、個別にお早めにご予約ください。
委員会では、トップツアー (<https://event.toptour.co.jp/ecas/taiyoko/system/>) に、ホテルを確保していただいております。ご希望の方は、表記ホームページよりお申し込みください。

イノベティブPV賞(論文賞)ならびに奨励賞

第175委員会ではシンポジウムで発表された講演の中から優秀な論文を選び、イノベティブPV賞ならびにイノベティブPV奨励賞を授与します。「奨励賞」は発表者が35歳以下(発表時点)の方を対象としますので、該当のご講演者は、講演申し込み時にその旨、明記願います。